

鎌田信夫先生の名誉教授就任を記念して

鎌田信夫先生の中部大学名誉教授ご就任を記念して、ここに記念論文集を編纂させていただきました。記念論文集の発刊にあたって、一言お祝いと感謝の言葉を記させていただきます。鎌田信夫先生は、早稲田大学商学部と大学院商学研究科で学ばれ、1962年から34年間にわたり南山大学で教育・研究・大学運営に携わられた後、1996年、同大学の名誉教授に就任されると同時に、中部大学教授として招聘されました。爾来、鎌田先生は、2007年3月までの11年間経営情報学部教授として教育・研究活動に打ち込まれる傍ら、1997年から2005年までの8年間は経営情報学部長兼同研究科長として学部・大学院の運営にも尽力され、さらに2002年から2007年にかけてはアントレプレナーシップ研究センター長、産業経済研究所長等も兼任され、いずれにおいても多大な実績を残してこられました。また、この間、1999年から2002年にかけては国際会計研究学会の会長、2000年から2005年にかけては日本学術会議会員も務められました。

このように、鎌田信夫先生は、永年にわたり大学人として多くのお仕事を重ねて来られましたが、今日まで一貫して最も大きなエネルギーを注いでこられたのは研究活動であったことと拝察します。中部大学に移られ教授職と学部長・研究科長職等を兼務される激務の中でも、常に真摯な姿勢で新たな研究課題に取り組まれる鎌田先生の姿は、多くの同僚や後輩に多大な刺激を与えてきました。

鎌田先生の主な研究領域はお若い頃から一貫して資金会計であったと伺っておりますが、それに加えて鎌田先生は、さまざまな関連分野の研究にも積極的に関わってこられたことは、上記のご経歴や先生の業績リストからもうかがい知ることができます。この中部大学名誉教授就任記念号に、中部大学経営情報学部教員のみならず国内外諸大学で研究されている多数の方々からご寄稿いただき、それらの論文主題も会計学のさまざまな切り口から構成されていることを見て、鎌田先生が永年積み上げてこられた学術活動の幅の広さと深さ、そして先生のご人徳を改めて感じる次第です。

本学名誉教授になられた鎌田先生が、いつまでもお元気で、これからもその旺盛なエネルギーで研究活動に取り組まれることを、これまで本学の発展に尽力された先生への感謝の気持ちを添えて、心から祈念致します。

2008年3月

中部大学経営情報学部長

小 野 桂之介